

ターム物リスク・フリー・レートの参考値の算出・公表主体の決定等について

1. ターム物リスク・フリー・レートの参考値の算出・公表主体の決定

「日本円金利指標に関する検討委員会」（以下、「検討委員会」）では、2019年10月29日に公表した「ターム物 RFR 金利（スワップ）の参考値の算出・公表主体の募集について」¹（以下、「公募公表文」）にてお知らせしておりましたとおり、日本円 OIS に関する市場データに基づき構築するターム物リスク・フリー・レート²の参考値の算出・公表を行う先を募集していました³。

この結果、本募集に対して、指標運営の実績のある複数の先から応募があり、公募公表文記書き 2. に記載の手続きに従い、応募先の評価を実施しました。

具体的には、ターム物 RFR 金利タスクフォース⁴（以下、「タスクフォース」）において、各応募先より、公募公表文記書き 1.（2）に記載の内容（そのポイントは以下の①～⑧）についてプレゼンテーション等による説明を受けました。その後、日本円 OIS のデータ提供者や運営機関の監督当局の考え方を踏まえつつ、評価を行いました。

- ① 指標の算出・公表が適切に行われる人員・事務体制が構築される見込みとなっているか
- ② 指標の算出・公表が適切に行われるシステム体制が構築される見込みとなっているか
- ③ 指標の運営主体として安定的な体制が構築されているか
- ④ OIS ブローカーからのデータ受領者としての信頼性は確保されているか

¹ https://www.boj.or.jp/announcements/release_2019/rel191029b.pdf

² 従来、検討委員会では、「ターム物 RFR 金利」と呼称してきましたが、「ターム物リスク・フリー・レート」と呼称されることが増えていることに伴い、名称を変更しています。

³ 本募集は 2019 年 12 月 31 日をもって締め切りました。詳細は以下を参照ください。

「ターム物 RFR 金利（スワップ）の参考値の算出・公表主体の募集締切について」（2019 年 12 月 6 日公表）

https://www.boj.or.jp/announcements/release_2019/rel191206c.pdf

⁴ タスクフォースは、ターム物 RFR 金利の算出・公表主体に対して実務的なサポートを行う新たな検討組織として、8 月 28 日に設立されました。詳細については、以下のリンクを参照ください。

「ターム物 RFR 金利タスクフォース」の設立等について」（2019 年 7 月 30 日公表）

https://www.boj.or.jp/announcements/release_2019/rel190730b.pdf

「ターム物 RFR 金利タスクフォース」の設立および第 1 回会合の開催について」（2019 年 8 月 28 日公表）

https://www.boj.or.jp/announcements/release_2019/rel190828a.pdf

- ⑤ 市中協議文書⁵で記載した方針や要件を尊重しているか
- ⑥ 市場環境の変化に応じた柔軟な対応が可能か
- ⑦ 新指標の普及を勘案した確定値公表に向けた対応方針
- ⑧ 上記説明内容が実現されるための経営計画が策定される見込みとなっているか

次に、検討委員会において、選定プロセスの透明性確保の観点から、タスクフォースより評価の根拠等について報告を受けたうえで、検討委員会としての評価および議論を行いました。

この結果、報告内容が市中協議文書で示していた方針や要件に沿ったものとなり、また、ほぼ全ての評価項目で最も評価が高かった株式会社 QUICK が、ターム物リスク・フリー・レートの参考値の算出・公表を行う先として適当と判断するに至りました。

2. ターム物リスク・フリー・レートの構築に向けた今後の予定

今後は、タスクフォースによるサポートのもと、株式会社 QUICK において、ターム物リスク・フリー・レートの参考値の算出・公表に向けた準備を行っていくこととなります。参考値の公表開始時期等については、準備が整い次第、日本銀行ホームページにてお知らせする予定です。

本件に関する照会先：
検討委員会事務局（日本銀行金融市場局市場企画課）
大竹（03-3277-1244）、塩沢（03-3277-1246）

以 上

⁵ 「日本円金利指標に関する適切な選択と利用等に関する市中協議」。詳細は以下のリンクを参照ください。
https://www.boj.or.jp/paym/market/jpy_cmte/index.htm/